

2章 教科領域等の授業における実践事例

GIGAスクール元年 2021年度の 授業実践編

2021年度実践

【授業編】

課題解決型の基本的な学習過程の
各学習場面でのタブレット端末活用

ロイロノートの活用

- ◆1月27日(木)6年社会科
 - ・教師による教材の提示～個に応じる学習
- ◆2月 2日(水)6年国語科
 - ・個に応じる学習～協働での意見整理、発表

6年1組 社会科「長く続いた戦争と人々の暮らし」

2022年01月27日

つかむ



見通す



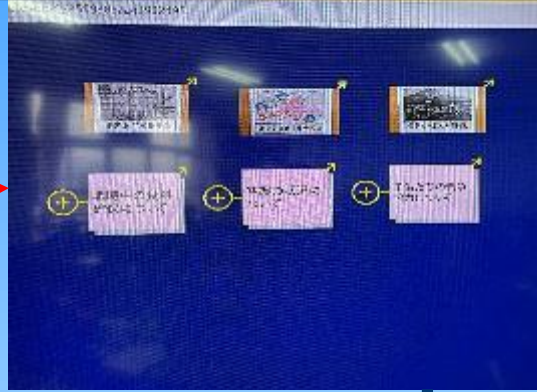
調べる・考える

児童用タブレット端末
へ配信されたデータ

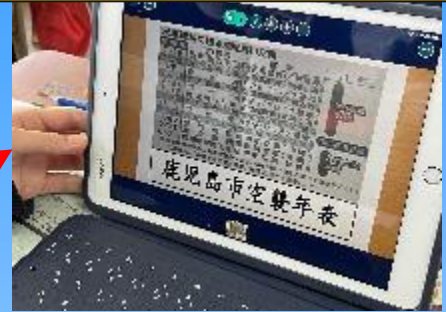
A1: 教員による教材の提示



教師用タブレットから児童タブ
レットへ資料データをロイロで配信



B1: 個に応じる学習



◆つかむ→見通す→調べる で活用
教師用タブレット端末から児童用タブ
レットへロイロノートで資料データを送信。
めあて設定、調べる方法を見通して自
分で調べたことをまとめる部分で活用し
た。今後は、個別学習で調べたことをタ
ブレット内でまとめるか、ワークシートに
まとめるか、その後の学習記録、評価と
の兼ね合いで検討する。

鹿児島空襲実物資料



6年2組 国語科「筆者の考えを読み取り、社会と生き方について話し合おう」

2022年02月03日

調べる・考える

深める

まとめる

児童用タブレット端末から教師用タブレットへ考えたことを写真で送信

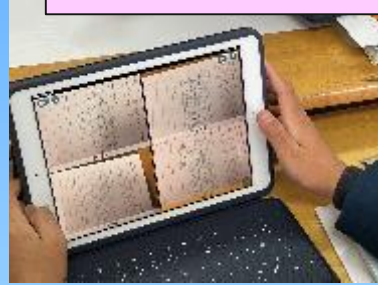
データをグループ内で共有し、グループとしての考えをまとめて、ホワイトボードに書く。

各グループの考えを学級全体で共有し合い深める。

B1: 個に応じる学習



C2: 協働での意見整理

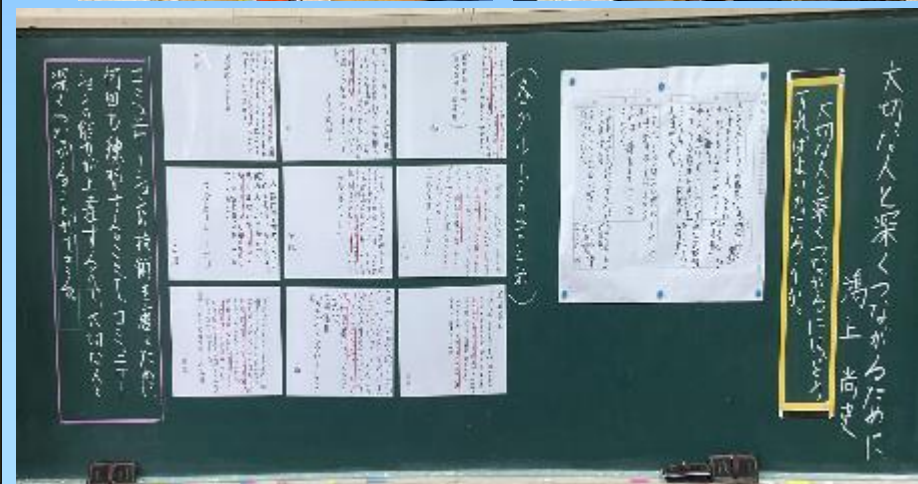


C1: 発表や話し合い



◆調べる→深める→まとめる で活用

子ども一人一人の考えをワークシートに書き、書いたものをカメラで撮って教師用タブレットに送信。グループ内の考えを出し合ってグループの考えとしてホワイトボードに書いてまとめる。まとめたことを学級全体で発表し合う手順で深めていくことができた。アナログ・デジタルともにデータの記録・保存ができる。



2021年度実践

【授業編】

外部施設・関係機関とのリモート授業

Microsoft Teamsの活用

◆11月12日(金)5年社会科

トヨタ自動車九州宮田工場とのリモート授業

◆2月24日(木)6年創意

NTTドコモ九州とのスマホ・ケータイ安全教室

【外部とのリモート授業】5年生がリモートによる 社会科見学をしました

2021年11月13日



11月12日(金)1、2、6校時に5年生の各クラスが「トヨタ自動車九州宮田工場」とオンラインのテレビ会議システムを活用してリモートによる社会科見学を行いました。施設の方に質問をしました。

【外部とのリモート授業】6年生が「スマホ・ケータイ安全教室」のリモート授業を行いました



2月24日(木)5校時に6年生3クラスが一斉に「NTTドコモ九州」とオンラインのテレビ会議システムを活用してリモートによる「スマホ・ケータイ安全教室」を行いました。

2021年度の取組についての成果と課題

A 子どもの学びに直接的に有効な取組

○ GIGAスクール構想で配備された一人1台のタブレット型端末(Teams、ロイロノート、デジタルドリルなどのソフト等)を学校行事、授業、補充指導等に積極的に活用して双方向型のICT教育を行うことができた。

B 学び以外の効率化を図る取組

○ 学校と家庭をつなぐデジタル通信システムについてこの1年間で4つの取組を実現することができた。この取組によって学校と家庭間の連絡事務の効率化、簡素化を図ることができた。

※ EdTech(エドテック)は、AとBの2つの側面から推進していくことが重要

現在、日本の社会は、すべての業界でDX（デジタル・トランスフォーメーション：デジタル化して業界全体を変革していくこと）を進めていこうとしている。教育界のDXの動きを見据えながら私たち大人（教職員も保護者）もICTリテラシー（より専門的な「知識」「応用力」「活用能力」）を高めながら子どもたちにかかわっていくことが必要である。

**GIGAスクール2年目
2022年度の
授業実践編**

「確かな学力」を育むこれからの学習指導の構築
～アナログとデジタルによる学習指導の融合を目指して～

すべての教科領域で情報活用能力を基盤にして育成する

（授業以外）
補充指導

関連

授業改善

付け

家庭学習

関連付け

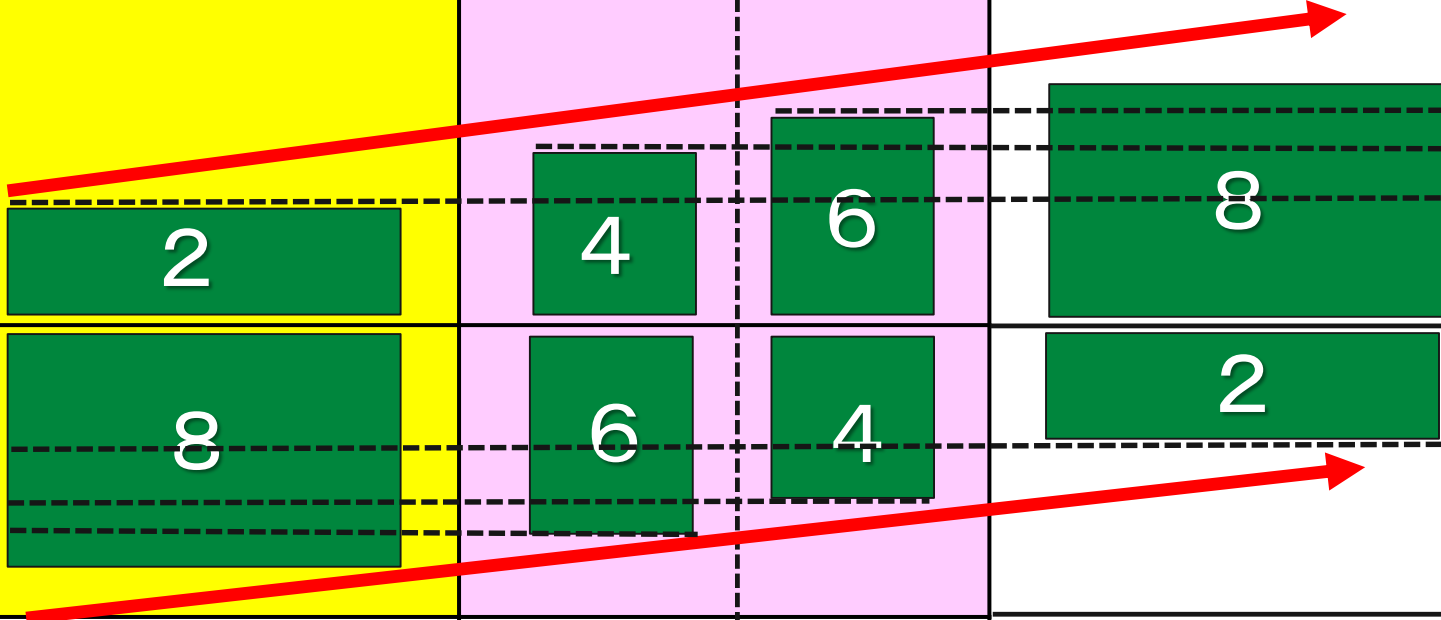
関連付け

デジタル学習指導（学習者用デジタル教科書、タブレット端末、デジタルドリル、AI教材、ロイロノート、テレビ会議システム等）

アナログ学習指導（紙の教科書、ドリル、教科用ノート、家庭学習ノート等）

アナログ学習とデジタル学習の重点の置き方(目安)

アナログとデジタルのバランス(目安)	【低学年】 1年生 2年生	【中学年】 3年生 4年生	【高学年】 5年生 6年生	
デジタル学習指導	2	4	6	8
アナログ学習指導	8	6	4	2
タブレット端末の活用程度 ・ 家庭への持ち帰り	学校で慣れ 親しみ・使う 家庭への持ち帰り不可		学校・家庭で 使いこなす 家庭への持ち帰り可	



学力定着のイメージ(※①②③すべてがそろおう)

つくる

とりだす

①input

③output

新皮質

しまう

旧皮質

②keep

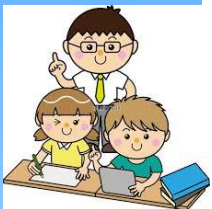
授業改善

問題練習

学校での補充指導(量と質)

+

家庭学習(量と質)



◆授業改善の基本的な考え方

※主体的・対話的で深い学びを実現する授業

※アナログとデジタルによる学習指導の融合

① 各学年(低・中・高)におけるタブレット端末を
活用できる学習活動はどのようなものがある？

※タブレット端末がもつ教育機能を生かす

② PBL(課題解決型の学習過程)を基本とした
ロイロノート、デジタルドリル等の有効な活用法

【学習過程】つかむ→見通す→調べる・考える→深める→まとめる→つなぐ

③ 各教科・領域の学習場面におけるロイロノート、
デジタルドリル等の有効な活用法

【学習場面】一斉学習、個別学習、協働学習

授業：学習場面に応じたICT活用事例（文科省資料）

A 一斉学習

挿絵や写真等を拡大・縮小、画面への書き込み等を活用して分かりやすく説明することにより、子どもたちの興味・関心を高めることが可能となる。

A1：教員による教材の提示

A2：教員と子ども全員によるまとめ

B 個別学習

デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや自分に合った進度で学習することが容易となる。また、一人一人の学習履歴を把握することにより、個々の理解や関心の程度に応じた学びを構築することが可能となる。

B1：個に応じる学習

B2：調査活動

B3：表現・制作

B4：家庭学習

C 協働学習

タブレットPCや電子黒板を活用し、教室内の授業や他地域・海外の学校との交流学习において子ども同士による意見交換、発表などお互いを高め合う学びを通じて、思考力、判断力、表現力などを育成することが可能となる。

C1：発表や話し合い

C2：協働での意見整理

C3：協働制作

C4：学校の壁を越えた学習

- ① デジタルドリルを活用する際は、その内容や使用場면을十分検討する（授業の一部、自宅等での学習等）
- ② 子供たちの学習状況を把握し、個別の学習支援につなげるとともに、子供が自ら学習の改善につなげられるようにする

課題解決型学習過程におけるICT活用の授業モデル

学習過程

つかむ

見通す

調べる・考える

深める

まとめる

つなぐ

学習形態・場面

A 一斉学習

B 個別学習

C 協働学習

(B 個別学習)

A 一斉学習

授業づくりでの活用のポイント

A1: 教員による教材の提示

B1: 個に応じる学習

B2: 調査活動

B3: 表現・制作

C1: 発表や話し合い

C2: 協働での意見整理

C3: 協働制作

C4: 学校の壁を越えた学習

B4: 家庭学習

電子黒板、
写真、挿絵
音声、映像な
どの活用

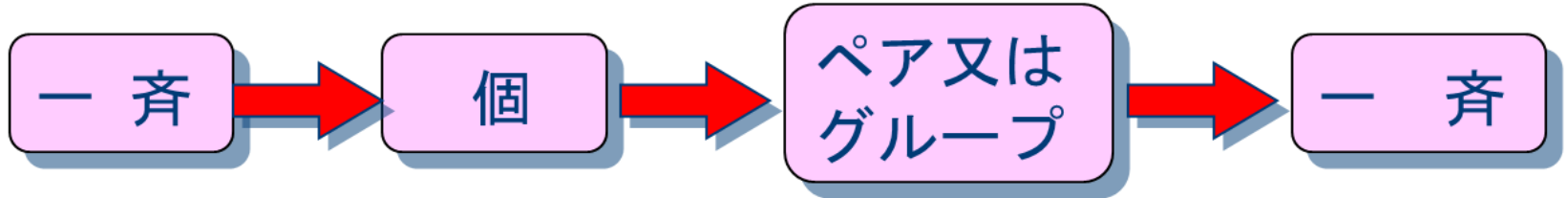
タブレット端
末、インター
ネットによる
情報収集、
写真、動画
の記録、マル
チメディアを
用いた資料
作品の制作

グループや
全体での話
し合い、意見
の整理、分
担しての作
品制作、交
流学習等

タブレット端
末の持ち帰り

授業における学習過程と学習形態との関係

【学習形態の基本的な展開】



A 一斉学習

B 個別学習

C 協働学習

A 一斉学習

【学習過程】

つかむ・見通す

調べる・考える

深める

まとめる・つなぐ

主体的・対話的で深い学び

2022年度実践

【授業編】算数科①

課題解決型の学習過程

ロイロノート及び

デジタルドリルの活用

◆6月21日(火)3年算数科

(兼1年目初任研授業)

3年2組でタブレット端末を活用した初任研の算数科 研究授業がありました 2022年06月21日



6月21日(火)1校時に3年2組で算数科の研究授業がありました。
初任研の一環で行われた研究授業でしたが、本校の3年生において初めてタブレット端末(ロイロノート、デジタルドリル)を活用した算数科授業として意義がある。
※朝登校したらタブレットを引き出しにしまいうルーティン、個人持ち用タブレットペンの活用が見られた。

つかむ



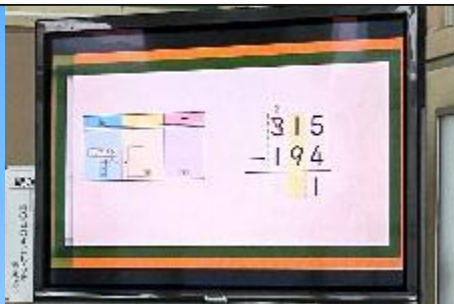
見通す



調べる・考える

A1: 教員による教材の提示

既習内容をデジタルドリルの動画資料で想起する



B1: 個に応じる学習

ワークシートに自分の考えを手書きしてまとめる→写真に撮る



先生のタブレット端末へ写真を送信する

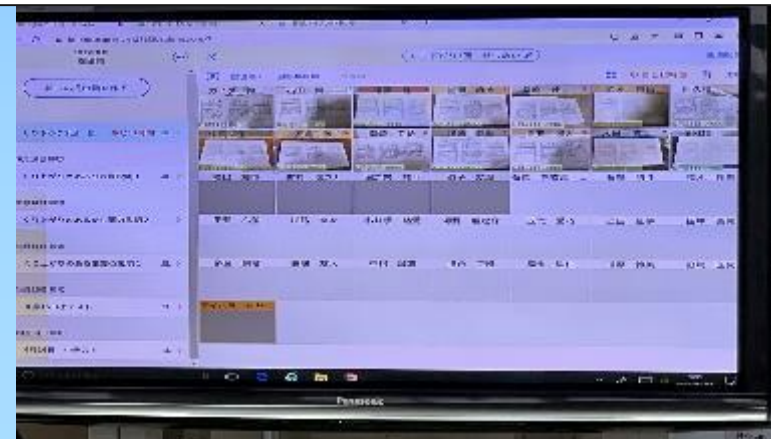


◆つかむ→見通す→考える で活用

デジタルドリルに内蔵された映像を活用して既習内容を振り返る際に活用。

めあて設定、考える方法を見通した後、自分の考えをワークシートに手書きでまとめる。タブレット端末カメラで写真に撮り、教師用タブレット端末に送信する。今後は、個別学習で考えたことを教師用タブレット端末に集約する意図を明確にする必要がある。学習記録、評価との兼ね合いで検討

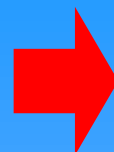
子どもたちの考えをロイロで集約する



深める



まとめる



(適用学習)

グループ内で個の考えを共有し、グループとしての考えをまとめる。→学級全体で共有して深める

本時の学習を振り返りながらまとめる

C2: 協働での意見整理

C1: 発表や話し合い

A2: 一斉学習でのまとめ



◆深める→まとめる→適用問題 で活用

まず、グループ内の一人一人の考えをタブレット端末を使って説明し合う。次にグループでまとめた考えを大型モニターに映し出して学級全体で発表し確認する。最後に本時で学習した2回繰り返し下がりのある問題をデジタルドリルを活用して解かせる。採点はデジタルドリルが行い、その達成状況は自動集計され記録・保存できる。

B1: 個に応じる学習

デジタルドリルで適用問題に取り組む



2022年度実践

【授業編】算数科②

終末の適用問題としての活用

デジタルドリルの活用

◆6月28日(火)4年算数科
(兼1年目初任研授業)

1単位時間におけるデジタルドリル活用の考え方の例

- 教師が単元をデザインする上で効果的な場面において、計画的に活用する。
- 学習指導において補助的役割として、例えば知識・技能の習得や定着の場面で、適切な反復による学習指導を進めるようにする。

導入	展開	終末	
学習問題の把握 (一斉)	問題の解決 ・個別(自力解決等) ・小集団や全体等での 考えの交流や練り合い	学習の まとめ (一斉)	練習 問題 (個別) 5~10分

※ その他、朝学習や放課後等の短時間学習での活用も考えられる。

B1: 個に応じる学習

デジタルドリルでの適用問題を指示

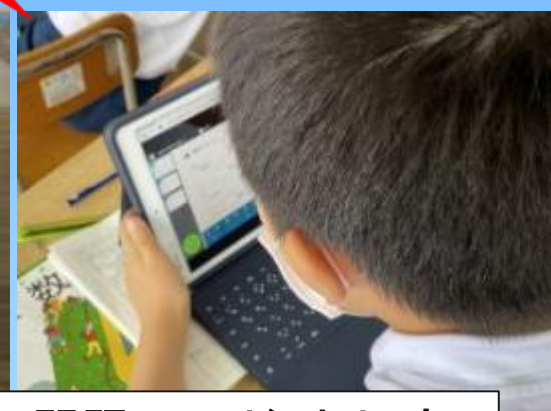


タブレット準備

算数科少人数指導



デジタルドリルで適用問題に取り組む児童



◆適用問題でのデジタルドリルの活用 ※算数少人数指導+デジタルドリルの活用の実践
本時の終末部分で学習した2けた÷2けたのわり算の問題をデジタルドリルを活用して解かせる。採点はデジタルドリルが行い、その達成状況は自動集計され記録・保存できる。

2022年度実践

【授業編】体育科

ロイロノート及び

タブレットカメラの活用

- ◆6月27日(月)6年体育科(「マット運動」)
(兼3年目初任研授業)
- ◆7月 1日(金)3年体育科(「鉄棒運動」)

つかむ



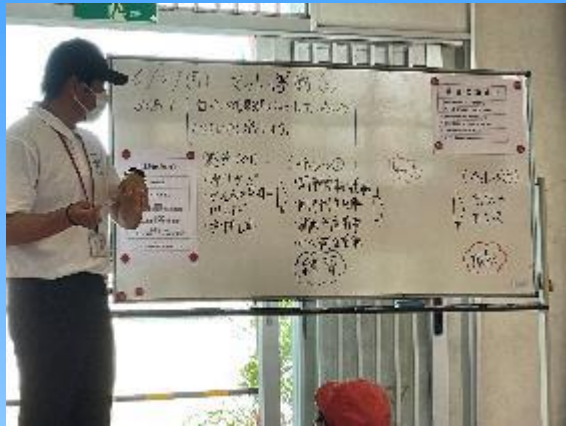
見通す



調べる・考える

児童用タブレット端末に保存された映像を基に技を追求する

A1: 教員による教材の提示



自分の前時間の映像を保存したものを基に追求する



B1: 個に応じる学習



◆つかむ→見通す→調べる で活用
児童用タブレットに保存された前時間の映像データを基にめあて設定、追及する方法を見通して自分で試行する。
今後は、個別学習で追及した映像を教師用、児童用タブレット内に保存して、その後の学習記録、評価活動へも活用することを検討する。

活動の見通し
課題を解決する視点
・手の付き方
・足の伸び など
※BeforeとAfterの映像の比較
※模範演技との比較
※見方・考え方

調べる・考える

深める

まとめる

児童用タブレット端末で個人の技を撮影して保存する。動画を保存。

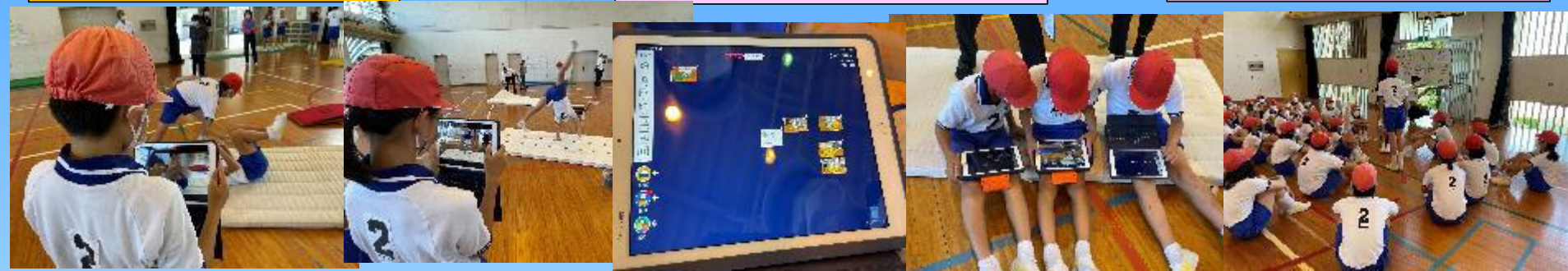
保存動画を見ながら、自分で見返す。グループでよくなった点を共有し合う。

各グループの考えを学級全体で共有し合い深める。

B1: 個に応じる学習

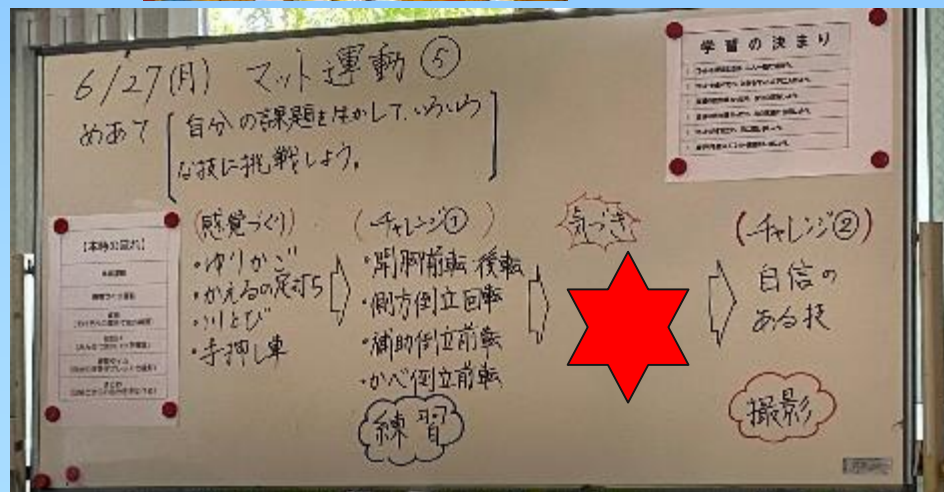
C2: 協働での意見整理

C1: 発表や話し合い



◆調べる→深める→まとめる で活用

子ども一人一人の技をタブレットカメラで撮って、個人用タブレットに保存。ロイロノート
の活用。Afterの枠に保存する。
Beforeのデータと比較する。グループ内の動画を出し合ってグループで話し合う。
グループで話し合ったことを学級全体で発表し合い共有し合う。→記録・評価



3年2組タブレット端末を活用した「鉄棒運動」

2022年07月01日



B1: 個に応じる学習



前時の動きを振り返り、課題をもつ

B1: 個に応じる学習



友だちの逆上がりを撮影し記録する。

C2: 協働での意見整理



友だちと一緒に動きを振り返る

前時に撮影した逆上がりの映像を振り返り、今日の課題を見つけて練習する。友達が逆上がりをしている様子を撮影して前時の映像と見比べる。時にはスローモーション機能を使って自分の動きを確認。保存された動画データは、ロイロノートを使って先生のタブレットに送信される。その動画をみて先生は、子どもの成長の過程を見届けて評価を行う。

2022年度実践

【授業編】音楽科

ロイロノート及び

自作のリコーダー運指教材の活用

9月8日(木)3年音楽科

リコーダーの運指指導に自作のデジタル教材 を活用しています

2022年09月08日



音楽の授業では、専門性の高い先生が3年生のリコーダーの指使いを指導するために、自作のデジタル教材を制作して授業に活用しています。また、今年度から学習者用デジタル教科書を活用して授業を行うようにしています。

2022年度実践

【授業編】道徳科①

ロイロノートを活用

6月17日(金)6年道徳科

道徳科の授業でロイロノートを活用しました

2022年06月17日



- ・ 生活リズムについて、事前にロイロノートでアンケートを行い、導入で結果を提示する。
- ・ 生活リズムを乱す要因として、スマートフォンやタブレット端末等の無制限利用などが考えられることに焦点を当て、自分自身の利用状況について課題意識を持たせる。
- ・ 基本的な生活習慣を整えることは、人間形成においてきわめて重要である。安定した生活習慣は、私たちの日々の生活を維持していくうえで大切なものであることを十分に理解させた上で、児童一人一人が自分の生活を振り返り、改善すべき点などについて見直ししながら、望ましい生活習慣を積極的に築こうとする態度を育てていく。



- ◎ アンケート調査を行うことで、児童の実態を把握することができた。
- ◎ ふり返りを日記で書かせ、児童の意見を学級通信等で発信したことで、保護者にも情報モラル教育の重要性を啓発できた。

2022年度実践

【授業編】道徳科②

PBL(課題解決)型の学習過程

ロイロノートの活用

◆10月21日(金)4年道徳科

(兼1年目初任研授業)

4年1組でタブレット端末を活用した初任研の道徳科 研究授業がありました

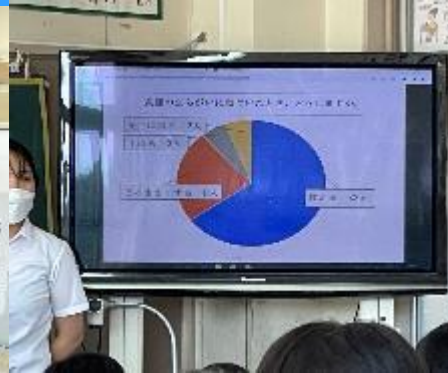
2022年10月21



机上の準備



ロイロノートの資料準備



アンケート提示



朗読教材の提示



個別学習の場面



個の考え付箋送信



協働学習の場面



構造的な板書

10月21日(金)3校時に4年1組で道徳科の研究授業がありました。
初任研の一環で行われた研究授業でしたが、**本校の4年生において初めてタブレット端末(ロイロノート)**を活用した道徳科授業としての意義がある。事前アンケート結果の提示、指導者用デジタル教科書の朗読の活用、自分の考えと同じ付箋を選んでロイロで送信する場面などで活用された。

4年道徳科「友達のことを考えて」(B信頼・友情) 2022年10月21日

つかむ



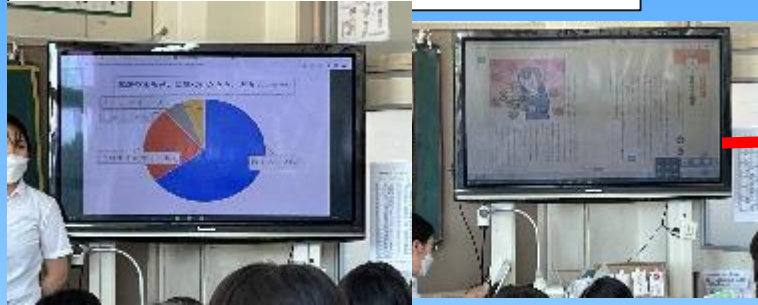
見通す



調べる・考える

A1: 教員による教材の提示

アンケート結果提示と道徳科指導者用デジタル教科書の朗読教材の提示



B1: 個に応じる学習

ワークシートに自分の考えを手書きしてまとめる→自分を選択する



先生のタブレット端末へ付箋を送信する



◆つかむ→見通す→考える で活用

ロイロノートに内蔵されたアンケート機能を活用してグラフ化して大型モニターで提示する。

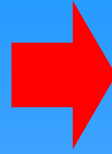
めあて設定、考える方法を見通した後、自分の考えをワークシートに手書きでまとめる。タブレット端末に配布された付箋を選んで、教師用タブレット端末に送信する。個別学習で考えた内容を教師用タブレット端末に集約する。学習記録、評価資料として活用する。

子どもたちの考えをロイロで集約する



4年道徳科「友達のことを考えて」(B信頼・友情) 2022年10月21日

深める



まとめる



振り返る

グループ内で個の考えを共有し、グループとしての考えをまとめる。→学級全体で共有して深める

本時の学習を振り返りながらまとめる

C2: 協働での意見整理

C1: 発表や話し合い

A2: 一斉学習でのまとめ



B1: 個に応じる学習



子どもたちの考えをロイロで集約する



◆深める→まとめる→振り返る で活用

まず、グループ内の一人一人の考えを説明し合う。

次にグループでまとめた考えを大型モニターに映し出して学級全体で発表し確認する。

最後に本時で学習したことを振り返りながら自分の考えの変化を振り返る。ロイロノートで集約して記録・保存する。

2022年度実践

【授業編】道徳科③

PBL(課題解決)型の学習過程

ロイロノートの活用

◆10月25日(火)3年道徳科

(兼1年目初任研授業)

3年2組でタブレット端末を活用した初任研の道徳科 研究授業がありました

2022年10月25日



アンケート提示



朗読教材の提示



乗り合いバス提示



個別学習の場面



個に応じた指導



個の考えを送信



友だちの意見を読む



構造的な板書

10月25日(火)3校時に3年2組で道徳科の研究授業がありました。
初任研の一環で行われた研究授業でしたが、**本校の3年生において初めてタブレット端末(ロイロノート)を活用した道徳科授業**として意義があります。

つかむ



見通す



調べる・考える

A1: 教員による教材の提示

事前のアンケート結果をグラフ化して提示する



B1: 個に応じる学習

ワークシートに自分の考えを手書きしてまとめる→写真に撮る



先生のタブレット端末へ写真を送信する



◆つかむ→見通す→考える で活用

ロイロノートに内蔵されたアンケート機能を活用してグラフ化して大型モニターで提示する。

めあて設定、考える方法を見通した後、自分の考えをワークシートに手書きでまとめる。タブレット端末カメラで写真に撮り、教師用タブレット端末に送信する。個別学習で考えた内容を教師用タブレット端末に集約する。学習記録、評価資料として活用する。

子どもたちの考えをロイロで集約する



深める

まとめる

振り返る

グループ内で個の考えを共有し、グループとしての考えをまとめる。→学級全体で共有して深める

本時の学習を振り返りながらまとめる

C2: 協働での意見整理

C1: 発表や話し合い

A2: 一斉学習でのまとめ



B1: 個に応じる学習

◆深める→まとめる→適用問題 で活用

まず、グループ内の一人一人の考えをタブレット端末を使って説明し合う。

次にグループでまとめた考えを大型モニターに映し出して学級全体で発表し確認する。

最後に本時で学習したことを振り返りながら自分の考えの変化を振り返る。ロイロノートで集約して記録・保存する。

子どもたちの考えをロイロで集約する



2022年度実践

【授業編】その他

タブレット端末の入力方法

10月14日(金)学び方編

【教育の情報化】指、タッチペン入力、キーボードを使ったひらがな、ローマ字入力の取組

2022年10月14日



今後、学校としてはこれらの入力方法をどの学年で身に付けさせるべきか？を体系化していこうと考えています。それに伴って学習の成果物(〇〇新聞、〇〇の記録など)を手書きでまとめるか、文書データとしてまとめるか？についても体系化していこうと考えています。

現在はいろいろな学年で試しながら取り組んでいる段階ですが、**最終的には小学校が終了する段階ですべての入力方法を身に付けられたらよい**と考えています。

2022年度実践

【授業編】英語科①

**学習者用デジタル教科書及び
タブレット端末カメラの活用**

7月13日(水)6年英語科

6年小学校英語科で学習者用デジタル教科書が活用されています

2022年07月13日



本校では今年度から英語専科をつくり、専門性の高い先生が3年生から6年生のすべての学級を指導していくようにしています。また、今年度から学習者用デジタル教科書を活用して授業を行うようにしています。

2022年度実践

【授業編】英語科②

**学習者用デジタル教科書及び
ヘッドセットの活用**

10月25日(火)6年英語科

6年学習者用デジタル教科書、ヘッドセットを活用して英語学習をしています

2022年10月25日



子どもたちはタブレット端末を準備して**学習者用デジタル教科書**を開いています。ヘッドセットを付けて個別学習に取り組んでいます。本校では今回**ヘッドセット(ヘッドホン付きマイク)**を**40セット**購入して子どもたちが集中して英語学習に取り組めるようにしました。英語専科の先生とAEAの先生がTT(チーム・ティーチング)できめ細やかな指導を行っています。

2022年度実践

【授業編】英語科③

**ロイロノート、学習者用デジタル教科書 (picture dictionary) 及び
ヘッドセットの活用**

11月29日(火)6年英語科

6年picture dictionary及びヘッドセット等を活用して英語科授業を行いました

2022年11月29日



ヘッドセットを付けた個別学習



導入の指導者とAEAの一斉学習の様子



発表を練り上げる個別学習



発表を録画するペア学習



相互に発表するグループ学習

本校では、英語専科の先生とAEAの先生がTT(チーム、ティーチング)できめ細やかな指導を行っています。子どもたちは、picture dictionaryのコンテンツを使ってヘッドセットを付けて個別学習に取り組んでいます。ペアで自分たちの発表を録画して振り返り、グループでも発表し合って自分の表現力を高めています。自分の発表映像を見ながら、課題を見つけて更により良い表現へと高めていきます。

6年英語科「Let's think about our food」 2022年11月29日

出会う



慣れる



A1: 教員による教材の提示

本時に学習する会話文をAEAが発音して紹介する



B1: 個に応じる学習

前時間の課題を基に本時間に発表する英文を一人一人がタブレット端末を使ってプレゼンし個別に練習する。



◆出会う→慣れる で活用

picture dictionaryに内蔵されたコンテンツを活用して個別学習をする。指導者とAEAが本時に学習する会話文を紹介し、本時のめあてと活動内容を説明する。

個別学習で発表する英文を練習する。ペア学習での発表の様子をタブレット端末カメラで撮影し、その映像を振り返る。



個に応じた指導

ペア学習

6年英語科「Let's think about our food」 2022年11月29日

楽しむ

広げる

振り返る

C2: 協働での意見整理

C1: 発表や話し合い

A2: 一斉学習でのまとめ

ペアで練習した表現を
タブレットカメラで録画

グループ内で練習した
ことを相互に発表する。

代表児童の発表と本時
の学習の振り返り



◆楽しむ→広げる→振り返る で活用

まず、練習した会話文を発表し合う。その映像を
タブレット端末カメラで動画に撮る。

次にペアで練習したことを3, 4人のグループで発
表し合う。

更に本時で学習したことをみんなの前で相互に発
表、鑑賞し合う。

最後に本時を振り返りながら自分の変容を振り返
り、次時の課題をロイロノートに記録・保存する。



構造的な板書

2022年度実践

【授業編】総合的な学習

ロイロノートの活用

12月9日(金)3年総合的な学習

3年生が総合的な学習で調べたことをタブレット 端末にまとめています 2022年12月09日



12月9日(金)3校時に3年生が総合的な学習の時間に調べたり、体験したりしたことをタブレット端末に入力しながらまとめています。

これまでは、手書きで紙に書いて「〇〇新聞」としてまとめていましたが、タブレット端末で指やタッチペンを使って文字を入力しながらまとめています。

2022年度の実践

【特別活動編】

学級活動（話し合い活動）

ロイロノート等の活用

2月 3日（金）4年学級活動

2月13日（月）3年学級活動

今回の研究授業では、話し合い活動における
タブレット端末活用の可能性を探ること

学級活動でロイロノートを活用できそうな授業 場面の構想案

2023年2月3日

課題解決型学習過程におけるICT活用の授業モデル

学習過程	学習形態・場面	授業づくりでの活用のポイント
つかむ	A 一斉学習	A1: 教員による教材の提示 電子黒板、写真、挿絵音声、映像などの活用
見通す	B 個別学習	B1: 個に応じる学習 タブレット端末、インターネットによる情報収集、写真、動画の記録、マルチメディアを用いた資料作品の制作
調べる・考える	C 協働学習	C1: 発表や話し合い C2: 協働での意見整理 C3: 協働制作 グループや全体での話し合い、意見の整理、分組しての作品制作、交流学習等
深める	(B 個別学習)	
まとめる	A 一斉学習	C4: 学校の壁を越えた学習 タブレット端末の持ち帰り
つなぐ	B4: 家庭学習	

【授業構想案】

- ① **A一斉学習**
本時の議題(話し合う内容)について司会者が大型モニターに掲示して話し合いの流れを説明する
- ② **B個別学習**
議題に関する自分の考えをロイロノートの付箋に書き、教師用タブレットに送信する
- ③ **C協働学習**
みんなの前で自分の考え(付箋記入)をプレゼンする
- ④ **C協働学習**
各自の考えについて質疑応答する
- ⑤ **A一斉学習**
話し合ってから決まったことをタブレット端末に記録して大型モニターに掲示して説明確認する
- ⑥ **B個別学習**
本時の話し合い活動を振り返り、自己評価の記録、保存をする

ロイロノートを活用した学級活動(話し合い活動)の授業構想案

2023年2月3日

【従来の計画委員会】

- ◆話し合いたいことを紙に書いて議題箱に提出
- ◆自分の考え・その理由等を特活ノートに書いて準備

【計画委員会での活用場面】

- ◆**議題収集**:話し合いたい議題を「ロイロノート」のアンケートに記入・提出
- ◆**発表準備**:「ロイロノート」上の特活ノートに自分の考えを記入して提出

【従来の話し合い活動】

- ◆自分の考えとその提案理由等をみんなの前で発表する→意見を出し合う
- ◆出された意見に対して挙手して質疑応答する
→出された意見を比較しながら全体の意見としてまとめていく

【本時での活用場面】

B個別学習

議題に関する自分の考え・提案理由等をロイロノートに書き、教師用タブレットに送信する

C協働学習

みんなの前で自分の考えをプレゼンする→**出し合う**
各自の考えについて質疑応答する
→**比べ合う**

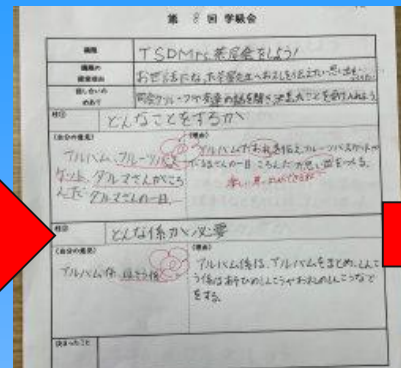
【研究授業】4の1学級活動(1)話し合い活動の研究授業を行いました

2023年02月03日



事前:計画委員会

計画委員会で話し合うことをまとめた学級会黒板



データ送信

学級会ノートに手書きで自分の考えを記入する



カメラで撮って教師へ送信・データを集約、記録・保存



本時

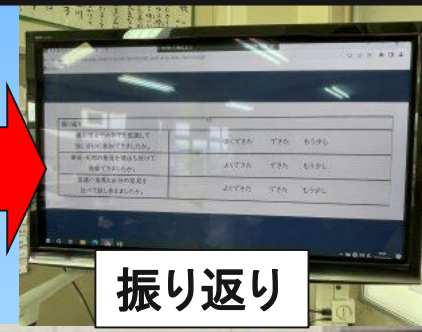
進め方確認



意見発表

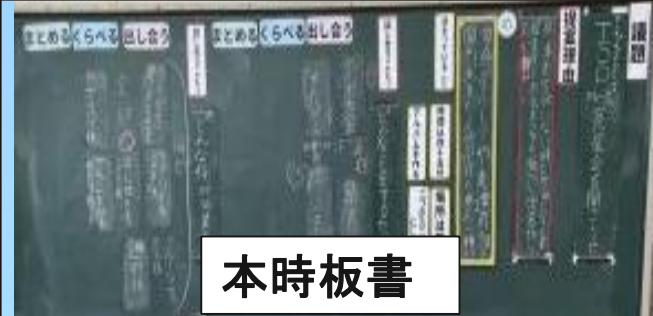


質疑応答



振り返り

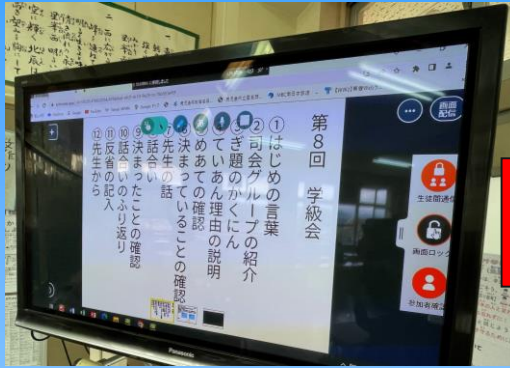
2月3日(金)2校時に4年1組で初任研学級活動の研究授業を行いました。今回は、タブレット端末を学級会で初めて活用しました。学級会ノートに自分の考えや提案理由を書いて、タブレットカメラで撮影して先生に送信する。これまでの学級会にはなかった取組にチャレンジしました。まさにアナログとデジタルを有効に組み合わせた授業づくりでした。



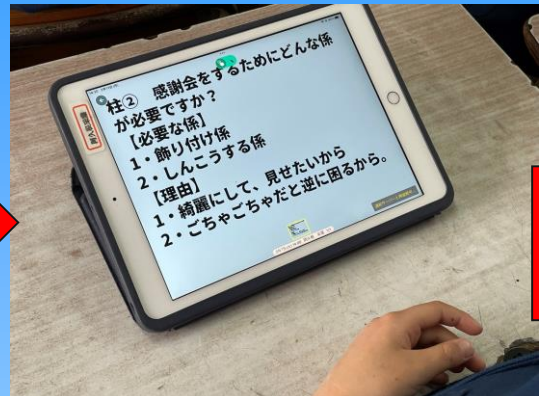
本時板書

3の2でロイロノートを活用した学級活動(話し合い活動)の研究授業を行いました 2023年2月13日

計画委員会での活用場面



計画委員会
議題募集・選定・決定

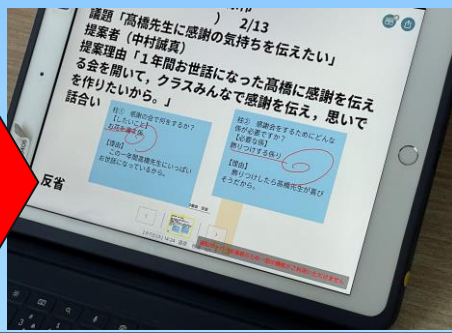


各自の考え
を記入して
データ送信

ロイロノートに話し合い
たいこと記入して送信、集約

ロイロノートの付箋に自分の考えを入力する

各自の意見を
事前に把握
本時の流れを
構想



教師へ送信されたデータを集約、記録・保存
話し合いの展開を想定した授業プランをつくる



教師は動画資料等を作成
・準備

3の2でロイロノートを活用した学級活動(話し合い活動)の研究授業を行いました 2023年2月13日

本時(学級会)での活用場面

本時



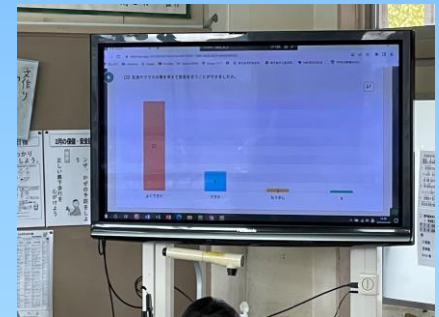
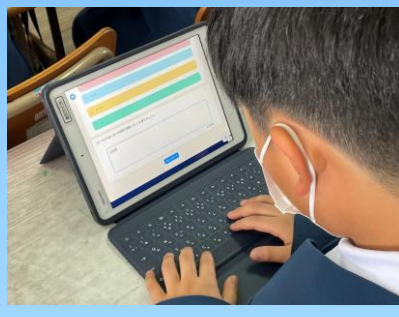
進め方確認



作成した動画資料の提示



タブレット端末を見ながら意見発表



アンケート機能を活用した自己評価(フリック・キーボード入力で記入)→集約結果の提示

動画提示、ロイロノートに自分の意見を記入、アンケート機能を活用した自己評価場面などで活用。フリック、キーボード入力などタイピングの系統的な指導の重要性を確認できた。